

Economic Indicators

発表日: 2020年9月8日(火)

国際収支(2020年7月)

～経常黒字は季調値で6月から減少、新型コロナウイルス感染拡大前を下回る水準での推移は続く～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部

エコノミスト 奥脇 健史 (TEL: 03-5221-4524)

		原数値 経常収支 (億円)	季調値 経常収支 (億円)	貿易・サービス収支			第一次所得収支
					貿易収支	サービス収支	
2019	7月	20,233	16,864	44	523	▲ 479	17,744
	8月	21,351	16,003	160	484	▲ 324	17,229
	9月	15,571	14,213	▲ 515	▲ 232	▲ 283	16,526
	10月	18,182	16,918	1,949	1,229	720	15,996
	11月	14,206	17,715	1,750	842	907	17,577
	12月	5,094	18,484	3,306	1,805	1,501	16,300
2020	1月	6,267	16,370	▲ 1,208	▲ 615	▲ 593	18,967
	2月	31,464	23,282	4,822	8,184	▲ 3,362	19,894
	3月	19,268	8,891	▲ 4,691	▲ 1,407	▲ 3,284	14,629
	4月	2,627	2,524	▲ 12,939	▲ 10,235	▲ 2,705	16,876
	5月	11,768	8,211	▲ 7,334	▲ 5,412	▲ 1,922	17,621
	6月	1,675	10,492	▲ 3,581	▲ 2,257	▲ 1,324	15,839
	7月	14,683	9,642	▲ 1,416	557	▲ 1,973	12,124

(出所)財務省「国際収支統計」

○7月の経常収支は貿易収支が黒字転化も、第一次所得収支の下振れにより6月から減少

7月の経常収支(原数値)は14,683億円の黒字(コンセンサス:18,720億円の黒字、レンジ:11,822億円の黒字~27,000億円の黒字)とコンセンサスを下回る結果となった。また、季節調整値では9,642億円の黒字(前月比▲8.1%)となった。輸出の持ち直しを受け貿易収支が2月以来の黒字となったものの、第一次所得収支が下振れたことにより、7月は季節調整値での黒字幅が前月比で小幅に縮小した。

経常収支(季節調整値)を項目別にみると、貿易・サービス収支は▲1,416億円の赤字(6月:▲3,581億円の赤字)と赤字幅の縮小が続いた。貿易収支が557億円の黒字と、黒字に転じたことが主因である。内容をみると、輸出が前月比+7.6%、輸入が同+1.6%と、世界各国での経済活動再開を受け、輸送用機器を中心に輸出は2か月連続で増加した。一方、輸入については、原油価格の低迷が下押し圧力となり、小幅な増加にとどまった。サービス収支については▲1,973億円の赤字と、赤字が続いている。輸送収支とその他サービス収支の赤字、訪日外客数の急減に伴う旅行収支の黒字低迷が影響した(旅行収支 5月:184億円の黒字→6月:198億円→7月:175億円)。

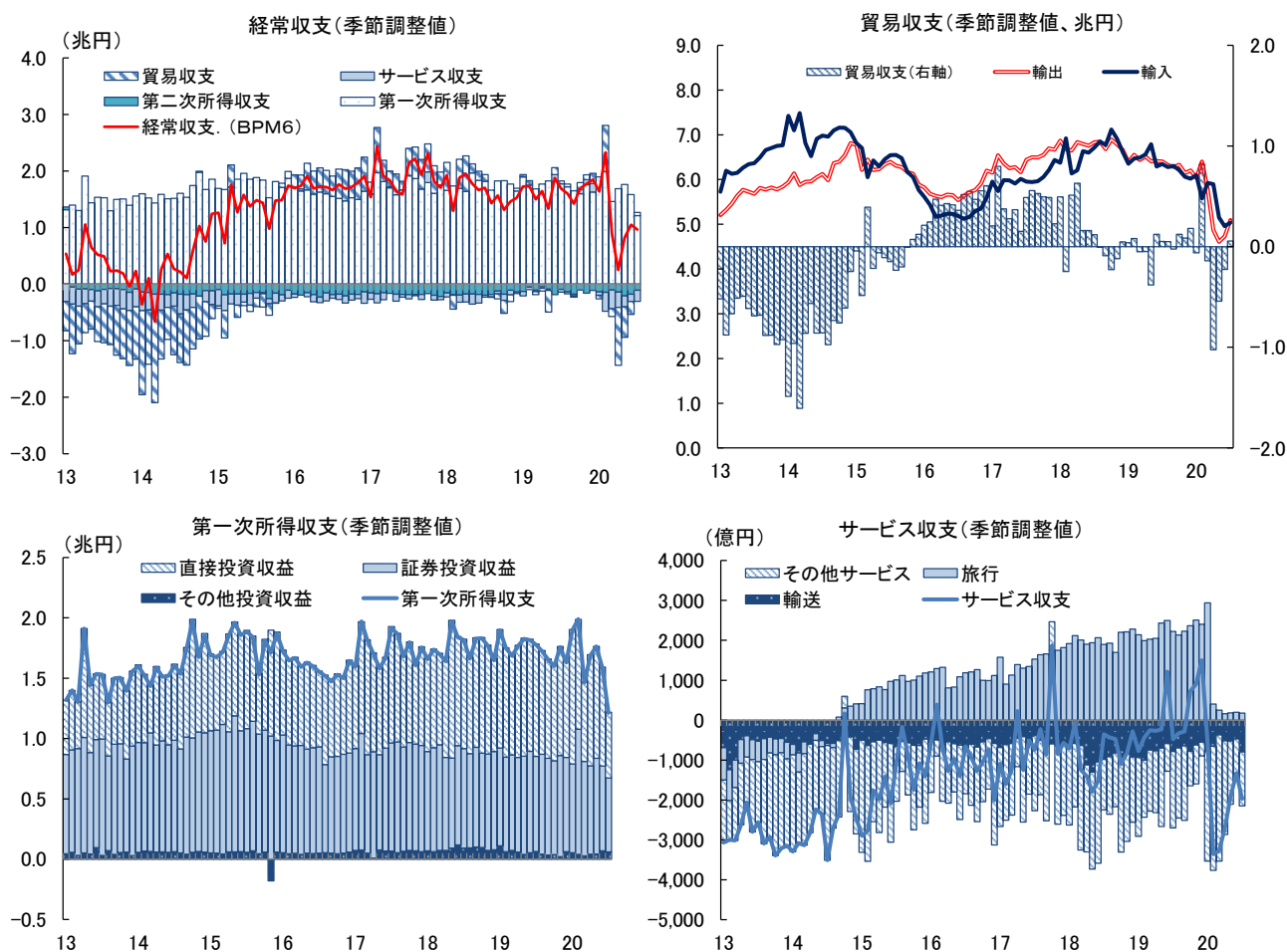
第一次所得収支は12,124億円の黒字(6月:15,839億円の黒字)と、2か月連続で黒字幅が縮小した。配当金・配分済支店収益の下振れによる、直接投資収益の黒字額減少が主因である。7月も引き続き第一次所得収支が経常黒字を支える構図が続いている。

○7－9月期の経常収支は前期比で大幅改善を予想も、新型コロナウイルス感染拡大前の水準を下回る

以上の通り、7月の経常収支は季節調整値で6月から減少した。8月は貿易収支の黒字拡大により、経常収支は7月から増加すると予想している。

8月の貿易統計上中旬によると、輸出が前年比▲15.3%、輸入が同▲17.4%となった。前年比では大きく減少しているが、前月比で試算すると輸出は7月から増加が続く見込みで、8月は貿易黒字が拡大する可能性がある。その後も各国での経済活動再開を主因に、輸出の持ち直しは続く予想する。低水準での推移が続く旅行収支については、一部の国・地域を対象としてビジネスを目的とした訪日客の入国制限緩和が進むなど、訪日外客数回復に向けた動きが進んでいる。とはいえ、国・地域や人数が制限されていることや新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続いていることなどから、旅行収支の回復には時間を要するだろう。また、減少が続く第一次所得収支については、企業収益の悪化による配当金の減少などが影響しており、今後も減少が続く場合には経常収支の下振れ要因となるため注意が必要だ。

7－9月期については、各国の経済活動再開を受けた輸出の持ち直しを主因に、経常収支は4－6月期から大幅な改善を予想する。とはいえ、新型コロナウイルスの感染拡大が続いていることやそれに伴う経済活動の制限が続いていることなどから、新型コロナウイルス感染拡大前を下回る水準にとどまるだろう。



(出所)財務省「国際収支統計」

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。